

社会福祉法人 穂積会

緊急時の対応マニュアル

01 転倒・衝突・転落などによる負傷

1. 転倒や衝突、転落などした時の対処の手順

1) 大泣きした後少し落ち着いてから
次のことを確認する

① 声掛けすると、眼を開けて
いつも通りの反応をするか？

② 全身を調べ、出血を伴うケガが
ないか？

③ 全身を調べ、触ると痛がる箇所が
ないか？

痛い所の訴えがないか？

2) ぐったりして

呼びかけや刺激に反応が無い場合

① すぐに119番

② 迷ったとき、不安なときは、
まず119番！

または

 医療機関に搬送！



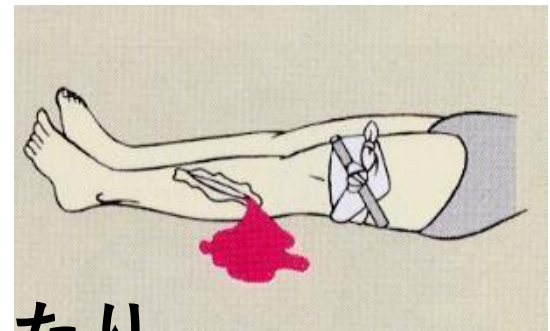
01 転倒・衝突・転落などによる負傷

3) 出血が多いときの止血と応急処置 (すり傷・刺し傷・切り傷など)

① ガーゼやタオルなどで傷を押さえ止血する



② 血が止まったら、傷口を洗って清潔にしてから、絆創膏などを貼る

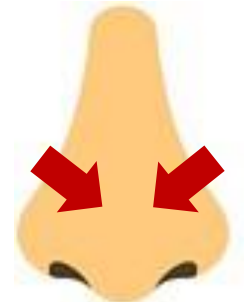


※傷口が大きかったり、血が止まらないとき、ガラスの破片や小石などが刺さっているときは、ガーゼやタオルなどで傷を押さえたまま医療機関で受診する

01 転倒・衝突・転落などによる負傷

4) 出血が多いときの止血と応急処置 (鼻血)

- ①子どもを座らせて、ななめ下を向かせる
- ②小鼻の部分を指でつまんで
5～10分程度圧迫する



- ※仰向けにしない!
- ※首の後ろをたたいたりしない!
- ※10分以上止血しても
止まらないときは医療機関で

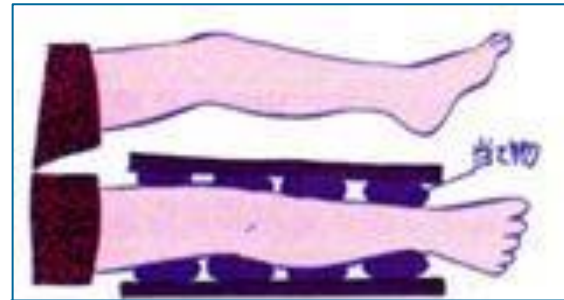
受診する

01 転倒・衝突・転落などによる負傷

5) 触ると激しく痛がる箇所があるとき、
痛みを訴えるときの応急処置
(捻挫・脱臼・骨折など)

① 下記の場合は
まず患部を動かさないように
固定する

- 患部が変形しているとき
- 内出血を起こして患部が紫色に腫れ上がっているとき



※ タオルで包んだ氷や保冷剤で
患部を冷やしながら医療機関で

受診する

01 転倒・衝突・転落などによる負傷

2. 下記のような

間違った知識、思い込みを絶対捨てる！

1) 泣いたら安心

泣かなかったらアブナイ

2) 血が出たから安心

出なかったらアブナイ

02 転倒・衝突・転落などによる頭部の打撲

1. 頭を打った時の対処の手順

1) 大泣きした後少し落ち着いてから次のことを確認する

①声掛けすると、眼を開けていつも通りの反応をするか？

②出血を伴うケガがないか？

③触ると痛がる箇所がないか？
痛い所の訴えがないか？

④泣き疲れて眠ってしまった場合、呼吸が荒く苦しそうだったり顔色が真っ青だったりしていないか？



02

転倒・衝突・転落などによる頭部の打撲

2) 出血している場合の止血と応急処置

① タオルかガーゼで患部を押さえて止血

② 出血が多いとき、
血が止まらないときは
すぐに医療機関で受診

③ 迷ったとき、不安なときは、
まず119番！
または

医療機関に搬送！

3) ぐったりして

呼びかけや刺激に反応が無い場合

① すぐに119番

② 迷ったとき、不安なときは、
まず119番！
または

医療機関に搬送！

02

転倒・衝突・転落などによる頭部の打撲

- 4) タンコブができている場合の処置
- ① タオルで包んだ氷や保冷剤で患部を冷やす
 - ② 下記の場合はすぐに医療機関で受診
 - －プヨプヨしたタンコブ
 - －大きなタンコブ
 - ③ **迷ったとき、不安なときは、まず医療機関で受診！**

※患部を冷やす場合は、タオルで包んだ氷や保冷剤を使用
冷えピタなどは効果が薄い

03 やけど

1. やけどの程度（深さ）の初期判断

Ⅰ度	Ⅱ度	Ⅱ度
<p>発赤 (赤くなる) 腫脹 (はれる) ヒリヒリした 痛み</p>	<p>発赤 (赤くなる) 水泡ができる 激しい痛み</p>	<p>皮膚表面が 固くなり 黒く焦げたり 白く乾燥した ように見える</p>
		

03 やけど

2. 応急処置

- 1) 手近にあるコップの水でもお茶でもまずかける
- 2) 早く、きれいな冷水で15分以上痛みがなくなるまで冷やす
- 3) 衣服を着ている部分にやけどを負った場合は、衣服を着たまま流水で冷やす



※水ぶくれに直接蛇口の水をあてないよう注意！

- 4) すぐに医療機関で受診
※医療機関までの移動中も濡らしたきれいなタオルや氷や保冷剤をきれいなタオルやガーゼに包んで冷やす

03 やけど

3. やってはいけないこと！！

- 1) 薬やアロエなどは塗らない
(処置はあくまで医療機関で！)
- 2) 水ぶくれはつぶしたり、やぶったりしない
- 3) 氷を直接、長時間患部にあてない
(氷はタオルかガーゼに包んであてる)
- 4) 衣服を着たままやけどした場合
服は脱がさない

03 やけど

4. 下記の場合は、迷わず119番 または病院搬送！！

- 1) 乳幼児の場合、
大人の手のひら1～2つ分の広さ
のやけどで命の危険の恐れあり
- 2) 範囲が広ければ血圧低下やショック
症状などもおこり、
意識をなくすこともあり
- 3) 鼻、口、頭、目、手や足の指全体、
陰部、関節、肛門部などのやけどや、
500円玉以上の大きさのやけど
の時

04 熱中症

1. 熱中症の早期発見と対処の手順

- 1) 暑い時期に遊んでいるこどもがぐったりしたとき、気分がわるいと言ったとき、次のことを確認する
 - ①言葉かけをした時、眼を開けていつも通りの反応をしめるかどうか？
 - ②唇が乾燥しているかどうか？
 - ③舌が乾燥しているかどうか？
 - ④顔色が悪いかどうか？
 - ⑤おしっこをした場合、尿量が少なく、色が濃いかどうか？

04

熱中症

- 2) 確認事項に『一つでも』あてはまる場合は熱中症を疑って対応する
- ① 風通しの良い日陰や冷房のきいた部屋など涼しい所に移動させる
 - ② スポーツドリンクや水などで水分を補給させる
 - ③ あおいで風を送ったり、濡れタオルで体を拭いたりタオルで包んだ保冷剤で首筋、脇の下、鼠蹊部を冷やす

04 熱中症

2. 症状が改善しない場合、
すぐに119番通報
または病院に搬送

※迷ったとき、不安なときは、
まず119番！
または
医療機関に搬送！

05 のど詰り（誤嚥による窒息）

1. のど詰り（誤嚥による窒息）早期発見と対処の手順

- 1) いままで元気だったこどもが、急におとなしくなって口をモゴモゴさせたり、鳴き声を出さずに苦しそうな表情でいる時、すぐに下記を行う
 - ①口の中を見て、口の中に異物（食べ物など含む）がある場合、指で口の中をなぞるようにして取り出す
 - ②異物が口の奥の方にある場合、指で触らずに、背部叩打法と胸部突き上げ法を繰り返す
- ※迷ったとき、不安なときは、
まず119番！
または
医療機関に搬送！

05 のど詰り（誤嚥による窒息）

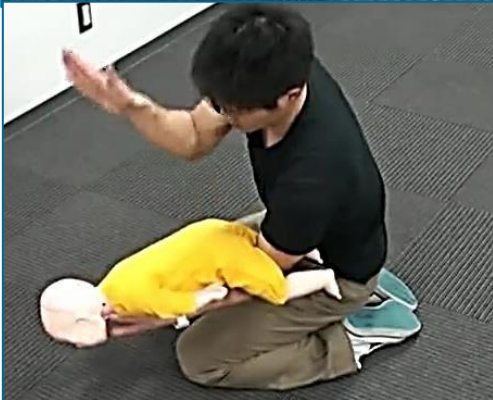
2. 背部叩打法（乳児）



1) 腹ばいにして、
あごをしっかり
支えて気道確保する



2) 頭が低くなるように
する



3) あごをしっかり支え
手の腹で
背中の中心部を
連続で5回叩く



05 のど詰り（誤嚥による窒息）

3. 胸部突き上げ法（乳児）



1) 乳児の背中を腕に乗せて、
頭を下げて
後頭部を支える

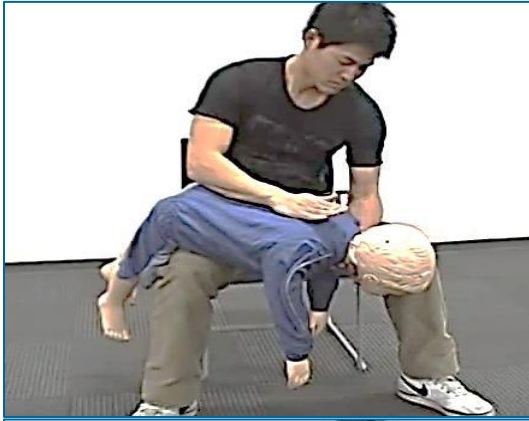


2) 2本の指で
胸の真ん中を
力強く数回連続
して圧迫する



05 のど詰り（誤嚥による窒息）

4. 背部叩打法（幼児）



1) イスなどに座り
子どもをひざに乗せ
頭を下げてあごを



2) 2本の指で
胸の真ん中を
力強く数回連続
して圧迫する



06 熱性けいれん

1. 熱性けいれん発生時の対処の手順
保育中の園児に熱性けいれんが起きたときはまず下記を行う
 - 1) チアノーゼ、呼吸抑制、意識消失があっても慌てない、落ち着く
 - 2) 衣服をゆるめ、特に首のまわりをゆるめて、頭部を少しそり気味にして呼吸を楽にする
 - 3) 頭部をやや低くし、横臥位にして顔を横に向け、吐いた物が気道に入らないようにする
 - 4) 吐物、分泌物が口のまわり、鼻孔にたまっていたら、ガーゼで拭き取る
 - 5) クーリングを施して、体温を測定
発作の長さや左右差、眼球の動きを観察し、記録する

06 熱性けいれん

2. やってはいけないこと・注意すること
 - 1) 歯を食いしばっている時でも、口の中に物は入れない
 - 2) 口からくすり、飲み物を与えない
 - 3) 抱っこなどで激しくゆすったり、大声で呼びかけたりして、大きな刺激を与えない
 - 4) 元に戻るまで、必ずそばにいる目を離さない

06 熱性けいれん

3. 下記の状態の時は119番通報または病院に搬送する
 - 1) 発作が10分以上続く場合
 - 2) 短い間隔で繰り返し発作が起こり、この間意識障害が続くとき
 - 3) 身体の一部の発作、または部分発作、初回発作（特に1歳未満の場合）
 - 4) けいれんの前後に頭痛の訴えや嘔吐、意識障害を伴う場合
 - 5) けいれんが左右非対称な場合
 - 6) けいれん後に麻痺が見られる場合